

ヤマトホールディングス株式会社
第144期第2四半期事業のご報告
 (平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)
をお届けします。

当社では、企業の社会的責任として環境保護に積極的
 に取り組んでおります。事業のご報告の発送方法につ
 きましても、封筒を使わずに宛名ラベルと開放部のテー
 プのみで送付する環境に配慮した方式を導入していま
 す。株主の皆様のご理解をいただきたくお願い申し上
 げます。

株 主 の 皆 様 へ



株主投資家の皆様におかれましては、ますます
 ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素から
 格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ヤマト
 グループは、宅急便事業に代表されるデリバリー事業
 を着実に拡大させるとともに、宅急便事業で培った
 グループ経営資源を活用してデリバリー以外の事業
 を飛躍的に成長させる事業戦略を遂行しています。

当第2四半期においてデリバリー事業は、国内の
 景気悪化を受け小口商流貨物を中心に宅急便数量
 が伸び悩んだことに加え、原油価格高騰により諸
 経費が増加するなど厳しい経営環境が続いたこと
 により減益となりました。

また、デリバリー事業以外においても、企業の生産
 調整などの影響を受けた事業もありましたが、一方
 でお客様のニーズを的確に捉え、ヤマトグループの
 総合力によって課題解決を支援するサービスはお客
 様から好評を頂き順調に事業拡大をはかりました。

●当第2四半期の連結業績は以下のとおりです。

(単位:百万円)

区 分	前第2四半期	当第2四半期	増減	伸率(%)
営 業 収 益	584,203	619,986	35,783	6.1
営 業 利 益	26,707	19,714	△6,993	△26.2
経 常 利 益	28,002	20,403	△7,599	△27.1
四半期純利益	15,037	8,628	△6,408	△42.6

●経営施策の取り組み状況は以下のとおりです。

- 1.「満足創造3か年計画」に基づき、ヤマトグル
 ープの経営資源を活用した物流イノベーションの
 創造により、お客様の販売拡大やコスト削減を
 支援する提案営業を積極的に展開しました。
- 2.ヤマトグループは機動的な経営資源の配分と迅速
 な事業展開を可能とするため、グループ内での
 組織再編に積極的に取り組んでおります。4月
 に国内航空貨物サービス事業を独立させたのに
 続き、8月には貿易物流サービス事業を強化する
 組織体制を整備し、貿易物流と国内ネットワー
 クを融合させて物流の最適化を提案する事業モ
 デルの創出に努めました。
- 3.グループ連携による共同開発・共同販売によっ
 て収益拡大を推進しながら、あらゆる業務領域
 において効率化の徹底に注力し、収益構造の抜本
 的変革と持続的な成長の実現に向けた経営基盤
 の強化をはかりました。

これからも、ヤマトグループの総合力を結集して、
 企業価値を向上させてまいります。株主の皆様にお
 かれましては、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りま
 すよう、お願い申し上げます。

平成20年12月

代表取締役社長 **瀬戸 薫**

CONTENTS

- 株主の皆様へ ----- 1
- 事業概況(連結) ----- 5
- 企業のお客様を支援するイノベーションの提供で、
事業の飛躍的な発展をめざします。 ----- 2
- 第2四半期連結財務諸表の概要 ----- 7
- 株式の状況/会社概要/株主メモ ----- 10